

グロースプロダクト・シリーズ

Kビルダー

K-BUILDER 7-2-21
LIQUID FERTILIZER SOLUTION
With 50% SLOW RELEASE NITROGEN

ストレスを撃退せよ

●特長

カリウムが貯蔵養分を蓄積し、ストレスに強くする!

高温期の『低チッソ・高カリウム管理』に最適

全窒素(7%)の1/2(3.5%)は緩効性窒素(メチレン尿素)、残りの1/2(3.5%)は葉面吸収性の高い尿素を配合し、環境抵抗性を高めるカリウムを21%配合しています。

高温期・低温期の温度ストレスに対する耐性を向上

カリウムは芝が養分を蓄積する働きに関与しているため、生育活性が低下する高温期・低温期の前から施用することによって温度ストレスによるダメージを軽減することが出来ます。

■推奨例

「サマーストレスを受ける前の梅雨期から高温期に」「生育活性が低下し始める前から」

2cc/m² (N=0.14g/m²、K=0.42g/m²) × 2回/月で使用すると環境抵抗性の高いターフを形成することが出来ます。

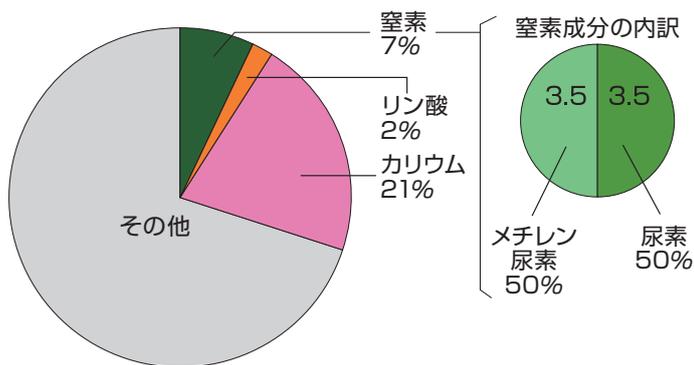
●グロースプロダクトシリーズの使用例 (関東平野部のゴルフ場において)



●カリウムの機能

カリウムは気孔の開閉や浸透圧の調整を行い、芝体内の水分をコントロールする働きを担っています。また、リンとともに根量を増加させる働きにも大きく関与しています。すなわち、カリウムは様々なストレスに対して抵抗性を高める重要な成分なのです。

●成分



●使用方法/注意事項

- 標準使用量 2~4cc/m²：2~3週間おきに
 - 水量 50~500cc/m²
★高温時(29℃以上)は60cc/m²以上でご使用ください。
 - pH 11~12
 - 酸性の資材と混和する場合は、Kビルダーを水で希釈した後、酸性資材を少しずつ加えてよく希釈してください。
 - 常温での保存が可能ですが、0℃以下では結晶が出来る事があります。しかし室温で数時間置くと水と混和すれば溶けます。成分変化の問題はありません。
 - 他剤と混合散布する場合は、まず本製品を水で希釈した後に、他剤を混和してください。原体同士の混和はしないでください。
 - 他剤との混和順序：1.水和剤 2.フロアブル剤 3.水溶性剤 4.界面活性剤(展着剤・浸透剤) 5.乳剤
- ※混和手順の間、攪拌を続ける事。前に入れた剤が十分希釈されてから次を入れる事。事前にジャー等で事前混合テストを行う事。
(注)日本での肥料登録上は、窒素7-リン酸1.5-カリ21となります。



東洋グリーン株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8
TEL.03-3249-7731(代表) FAX.03-3249-7781

東京支店 名古屋支店 大阪支店 九州支店
土浦営業所 千葉営業所 沖縄営業所 柏技術センター

<https://www.toyo-green.com>